

新 生



東北新生園入所者自治会

令和四年六月 十日印刷
令和四年六月二十日発行

新生第七十四巻 第二号

新 生

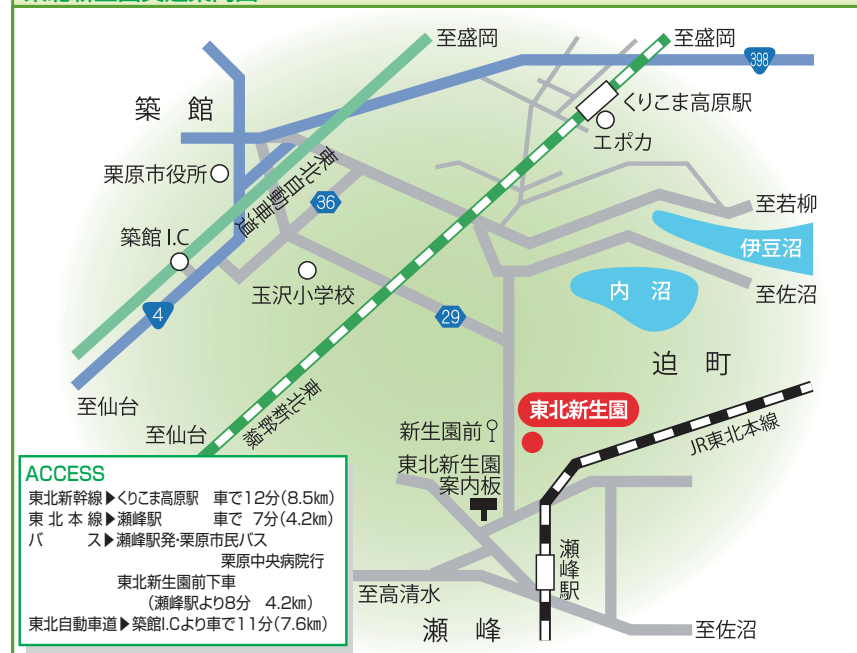
令和四年六月 十日印刷
令和四年六月二十日発行

第七十四巻第二号

東北新生園の概況

所在地	宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢1番地
土地面積	351,291㎡
建物延面積	22,740㎡
開 園	昭和14年10月27日
医療法承認病床	185床
標榜診療科	内科、外科、皮膚科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科
現在入所者数	男13名 女29名 計42名
職員定員数	136名（令和4年4月1日現在）
園 長	医学博士 横 田 隆

東北新生園交通案内図



お花見



先生、看護師さんと一緒にお花見

園内日誌

令和四年 一月～三月

二月

二十四日 正月行事（抽選会）

三月

三十一日 転勤・退職者離任式

【謝寄贈図書欄】

令和四年 一月～三月（敬称略）

多磨 岡山県 邑久光明園
 菊池 東京都 多磨全生園
 青松 香川県 大島青松園
 愛生 岡山県 長島愛生園
 甲田の裾 青森県 松丘保養園
 始良野 鹿児島県 星塚敬愛園
 日本ハンセン病学会雑誌 第九十卷三号
 東京都 日本ハンセン病学会事務局
 「ハンセン病問題から学び・伝える差別のない
 社会をつくる人権学習」
 ハンセン病市民学会 教育部会事務局 相川翼

令和4年6月10日 印刷
 令和4年6月20日 発行

発編印 行集刷 東北新生園楓会(自治会)
 楓会文化部
 川内印刷株式会社

〒989-4601

宮城県登米市迫町新田字上葉ノ木沢一

発行所 東北新生園 電話 0228 (38) 2121(代)
 東北新生園入所者自治会 電話 0228 (38) 3600



新生・第七十四巻第二号……………目次

表紙：「春の調べ（ソメイヨシノ）」……………撮影 事務長 加藤 久 弥

着任のご挨拶……………	総看護師長……………	佐藤 育子……………	2
就任のご挨拶……………	副診療放射線技師長……………	齋藤 浩二……………	6
ごあいさつ……………	主任臨床検査技師……………	大橋 玲央……………	8
はじめまして……………	理学療法士……………	野口 裕……………	10
随筆「青江三奈ショーを見に行つて」……………		斎藤 照雄……………	13
観桜行事……………		栄 養 班……………	16

|| 新生文芸 ||

詩……………	選者……………	佐々木 洋一……………	17
短歌……………	選者……………	川 二 郎……………	19
俳句……………	選者……………	山 田 桃 晃……………	21
川柳……………	選者……………	石 田 隆 子……………	23
着任のご挨拶……………	看護師長……………	菊 地 春 恵……………	25
転勤のご挨拶……………	事務長補佐……………	佐 藤 千 代……………	28
ご挨拶……………	医事係長……………	堀 江 政 光……………	31
四コマ漫画「メモリー」……………			34
園内日誌・謝寄贈図書……………			

着任のご挨拶

総看護師長 佐藤 育子

私は、平成二十七年・二十八年と二年間副総看護師長としてお世話になっておりました。赴任当時は、ハンセン病療養所に関する知識も少なく戸惑いながらも、新生園の皆様を支えられ過ぎておりました。広大な敷地内での満開の桜、新緑、紅葉、雪景色等素晴らしい療養環境に心を癒やされ、入所者自治会（楓会）による春の観桜会、夏祭りとは花火大会、春秋バス旅行や秋の収穫祭、クリスマスイルミネーション、お正月抽選会等へ参加し元気をもらい、春の高松宮記念杯ゲートボール大会と秋の寛仁親王妃杯女子コスモスゲート

ボール大会では一勝した時の喜びが活力になっておりました。

国立療養所東北新生園で二年間勤務した後には、国立病院機構山形病院で副看護部長として二年間勤務しました。赴任先の看護部長は、国立療養所東北新生園でもお世話になっていた宮里看護部長でした。国立病院機構を二年離れ副看護部長としての勤務は初めてで、施設基準の維持や患者数の確保等、看護部長とは立場がかわることによる責任の重さや看護管理の難しさを感じながらも、周囲の職員の支援を受け頑張ることができました。山形といえば、樹氷と温泉で名高い「蔵王」や俳聖松尾芭蕉ゆかりの「山寺」等の観光地があり、自然が豊かです。また、仲間や家族と一緒に河原に集い芋煮の鍋を囲む「芋煮会」やサクランボ、ラフランスなどの果物が豊富で、冷たいラーメンの発祥地でもあり、山形市は外

食でのラーメンの年間支出金額が全国二位とことでした。後、忘れてはならないのは八月に行われる「山形花笠祭り」です。病院職員や附属看護学校の看護学生と仕事が終わった後に練習をし、晴れの舞台の時には、おそろいの山形病院の名前の浴衣を着て踊りました。山形病院には、自家用車での通勤をしていました。山形自動車道はカーブが多く、仙台を出発し笹谷峠を過ぎると冬は吹雪で視界が悪く、そこは真つ白な別世界でした。低速で前の車のテールランプを目印に恐る恐る車を運転し通勤しました。しかし、春から夏にかけての新緑や秋の紅葉は言葉で表すことができないくらい素晴らしく、毎日その景色を見ながら往復二時間通勤できることに嬉しさも感じておりました。

国立病院機構山形病院の次は国立病院機構仙台西多賀病院で、三年間副看護部長として

勤務しました。看護師長の時に五年間勤務していた病院で、看護師長として看護の楽しさややりがいを持って勤務できた場所だったので、また勤務できることが嬉しかったことを今でも覚えています。しかし、看護部長から副看護部長と立場がかわり、関わる職員も多く看護管理の難しさを痛感した三年間でした。そして、国立病院機構仙台西多賀病院の三年目の四ヶ月間、福島県にある国立病院機構いわき病院に週二回副看護部長の併任ということで勤務しました。以前は、塩屋埼灯台の間にありましたが、東日本大震災で八メートル超の津波の被害を受け、現在はオーシャンビューはありませんが、恵まれたアクセス環境の場所に移転し、今までと変わらぬ患者さんの目線に立った、きめ細やかな看護を提供できるよう、一丸となって頑張っている職員と一緒に勤務することができました。通勤は、

常磐線の「特急 ひたち」を利用し通勤しました。東日本大震災による被害と、それに起因した福島第一原子力発電所事故による帰還困難区域（事故発生当初は警戒区域）のため、一部区間が不通でしたが、現在は全線が開通しています。仙台駅から福島県いわきゆもと駅までは約三時間で、太平洋側沿岸近くを走るため風が強く悪天候だとダイヤが乱れることが多く、時には野生動物との遭遇や衝突による運転の見合わせなど様々な場面に遭遇し、バスへ変更したり早めの電車に切り替えたりと今までにない経験をしました。いわきは氣候が温暖で、冬でも雪はほとんど降らず東北の湘南と言われるだけあって、私が宿泊していた「いわきゆもと駅前」にはヤシの木があり南国ムードたっぷりでした。いわき観光の定番スポットと言えば「スパリゾートハワイアンズ」。いわきゆもと温泉に含まれる硫黄

には、解毒作用や皮膚をなめらかにする働きがあり「自然治癒力」高める相乗効果もあるようです。町中には足湯がところどころにあり、自由に入れるようになっていました。看護師として勤務し三十年以上になり、東北六県中五県の病院で勤務し、様々な人との出会いがありました。ここまで頑張ることができたのも周囲の皆様のおかげと心から感謝します。

そして、この度、五年ぶりに東北新生園へ戻って参りました。今度は総看護師長となり立場もかわる為、責任の重さに不安がいつぱいでした。そんな時、横田園長に「待ってましたよ。よく来てくれた。」と笑顔でおっしゃって頂いた時には、心の底から嬉しく不安が和らぎました。また、入所者の皆様への挨拶回りの時には、笑顔と優しい言葉で温かくお迎えしていただき感謝の言葉しかあり

ません。本当にありがとうございました。前任の菅原セイ子総看護師長の「入所者の皆様が少しでも生きがいを持って、楽しみながら穏やかに園での生活を過ごしていただきたい」という思いは私も同様です。入所者の皆様の思いに寄り添い、看護職員が一丸となつて、入所者の皆様の生活を支えることができよう邁進したいと思っております。私も後二年で退職を迎えます。残りの看護人生の二年間を国立療養所東北新生園で過ごすことができ、嬉しく思っております。どうぞ、よろしくお願い致します。



就任のご挨拶

副診療放射線技師長 齋藤 浩二

この度、国立病院機構花巻病院から東北新生園に赴任して参りました齋藤と申します。縁あってこちらにお世話になる事になりました。どうぞ宜しくお願い致します。

私は、ここ東北新生園への転勤を含めると八回目の転勤となります。国立仙台病院（現仙台医療センター）を始めに、弘前病院（現弘前総合医療センター）、函館病院、青森病院、岩手病院、あきた病院、そして花巻病院からこちらへと移動して参りました。どの施設においても数年毎の移動で、ようやくその土地に慣れたと思った頃には移動を繰り返し

なかったので函館では印象に残りました。また、あきた病院では通勤で使う道路が日本海に面しており、勤務後には素晴らしい夕日を眺めながら帰路に就く、という贅沢な時間を過ごしていました。ただ暫くすると、その綺麗な夕日も存在が当たり前となり、人の慣れとは恐ろしいものだと思感しました。

ここで、放射線科の紹介をしたいと思います。すでにご存じかもしれませんが、一般撮影装置、ポータブル撮影装置、歯科用撮影装置、X線TV装置、マンモグラフィ撮影装置、X線CT診断装置があります。これらの設備に加えて遠隔画像診断を仙台医療センターと行っており、充実した診療を行っています。さらに放射線管理である環境線量測定も行っており、放射線の適正利用を日々心掛けております。

また、放射線に関する疑問（放射線とは何

て残念に思っていました。しかし、悪い面だけではありません。仙台では牛タンを堪能し、弘前では弘前公園での桜まつり、函館では市場で新鮮な海産物を満喫しました。青森ではその雪の多さに辟易し、岩手では中尊寺に近いということもあり、普段あまり触れない歴史を勉強することができました。あきたでは海岸線沿いに立ち並ぶ風力発電設備の数の多さに、この土地での風の強さを感じることででき、花巻では宮沢賢治の足跡を辿ることができました。これらを良い思い出として記憶に残すことができたことは良かったと思っています。

特に思い出に残っていることを二つほど。函館病院の近くに五稜郭があり桜の名所なのですが、すぐそばにある五稜郭タワーに登って見た桜が特に素晴らしかったです。弘前も美しい桜でしたが、上から見るということは

か、CT検査では何が分かるのかなど）や検査に対する不安、被ばくについてのことなど知りたいことがありましたら何でも結構ですので、放射線科に問い合わせて頂けたらと思います。

私はハンセン療養所での勤務が初めてであり、これまで携わることができた施設での経験を上手く生かすことができるだろうかと不安もあります。入所者一人一人の皆様の診断や検査に少しでも力添えになれたらと思っています。

至らない事も多いとは思いますが、自身の日々の研鑽を怠ることなく、入所者の皆様には少しでも安心かつ安全な検査を提供できるように、心掛けていきたいと思っています。なので、今後とも宜しくお願い致します。

ごあいさつ

主任臨床検査技師 大橋 玲 央

四月一日付けで国立病院機構仙台医療センターから赴任して参りました。主任臨床検査技師の大橋玲央と申します。どうぞよろしくお願い致します。仙台医療センターには、新卒採用から十年間勤務し、一般検査（尿検査、便検査、髄液検査など）と細菌検査を主に担当していました。

出身は北海道の道東に位置する美幌町です。美幌町はオホーツク海から三十km程度内陸に位置する町です。地名の由来は、アイヌ語で「ピ・ポロ＝水多く・大なる所」と言い、これが転訛して「ビホロ」と名付けられ

も良いリフレッシュになっています。また、小さいテントを張って、中で楽しそうにおやつを食べている子供たちの姿を見ると、とても微笑ましくなります。

先日、娘とキックバイク（足で地面を蹴って進む自転車）に乗る練習をしました。二歳の誕生日に祖母が買ってくれたもので、オレンジ色がとても気に入っているようです。これまで何度か練習して、またがってみるものの、途中で嫌になってしまいうのを繰り返し、とうとう二度の冬を越してしまいました。まだ早かったのかなと思ひ、物置にしまっていたのですが、公園に行く準備をしていた時にふと見つけ、娘が

「やってみる」

と急に言い出したので、近くの公園に移動して練習を試みることにしました。私が後ろでサドルを抑えながら補助して進んでみまし

ました。私が好きな場所は美幌峠です。美幌峠からみえる屈斜路湖は阿寒摩周国立公園の中にある湖の一つです。屈斜路湖は周囲が五十七kmもあって、とても大きい湖です。屈斜路カルデラには、藻琴山（標高約一〇〇〇メートル）や摩周岳（標高八五七メートル）に加え、知床連峰の南端に当たる日本百名山「斜里岳（標高一五四メートル）」に至るまで、北の大地の高山群がひしめきます。美幌峠の頂上からは自然の大パノラマが一望でき、そこで食べる「熊笹ソフトクリームとあげいも」が格別です。

趣味はアウトドアです。コロナ前は同僚と山登りや釣り、スノーボードなどをしていました。最近では天気がいい日は、娘（四歳）と息子（二歳）と公園に行ってピクニックするのが定番になっています。外でボール遊びや、鉄棒など遊具と一緒に遊ぶことが、とて

たが娘は複雑な表情をしていました。視線の先には自分より年下である男の子が、スイスイ進んで楽しそうにしているのが見えませんでした。そちらが気になってなかなか自分の方には意識が向かず。

「なんで乗れないの？」

と娘は言いました。自分も一人で乗れるようになりたい気持ちはあるけど、怖さや不安がぬぐえない。そんな気持ちなのでしょう。

「みんな練習したからできるんだよ」と伝えてもなんだか不安げな表情は変わりません。

それでも、その時は「自分でやってみる」と言い、補助なしで練習し始めました。最初は恐る恐るゆっくりでしたが、だんだんスピードが付き走るように蹴ってできるようになり、最後は足で蹴って両足が地面から離せるようになりました。練習後に隣で見ていた弟に「大丈夫？練習したらできるからね」

と優しく言っている姿は、自信のようなものが見えて成長を感じました。

私自身も子供たちの成長に負けないように、いち早く業務に慣れ入所者の皆様のお役に立てるように精一杯、頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。



きをする必要があります、夜はできるだけ早く寝るよう心がけています。新生園に異動して来る前は、岩手県盛岡市に住んでいました。盛岡は以前に比べれば雪が少なくなつたとよく耳にしますが、それでも私にとっては豪雪地帯であり、雪が積もると早起きをして雪かきをし、早く家を出ていました。それにも関わらず、電車が止まって遅刻しかけたことが何度もありました。宮城県も古川辺りの吹雪が多いため、今から冬期の通勤のことを心配しています。

さて、余談になりますが、私には趣味における目標があります。それは全国百か所の神社にお参りすることです。『一度はお参りしたい神社百』という神社名鑑を参照し、北海道から沖縄まで百か所の神社にお参りすることを目指しています。これまでに三十八か所を巡りましたが、まだまだ先は遠いです。そ

はじめまして

理学療法士 野口 裕

令和四年四月より東北新生園にて勤務させて頂いておられます、理学療法士の野口裕（ゆう）と申します。リハビリをされている方も、されていない方も、お目にかかる機会がありましたら、どうぞよろしくお願い致します。

私の出身は仙台市です。両親の転勤や自らの転勤で幼少期から現在まで各地を転々としてきましたが、この度十一年振りに仙台へ戻り、仙台市内から通勤することとなりました。通勤は車やバスを乗り継いで、片道一時間半の道のりです。これまでの生活で一番の早起

の中で特に印象的だった神社を二つ紹介します。

一つ目は大神（おおみわ）神社です。奈良県桜井市にあり、古墳時代以前から存在する日本最古の神社のひとつと云われています。

ご祭神の大物主大神がお山に鎮まるため、本殿はなく、ご神体は三輪山という山そのものとなっています。他の例としては、広島県の安芸の宮島や、和歌山県的那智の滝など、自然物をご神体とするケースは多くみられます。大神神社がなぜ印象的だったかというと、私の祖父が桜井市の出身だということを最近になって知り、それから訪れてみたいと思うようになったからです。桜井市を中心とした三輪地方では三輪素麺が特産物として有名ですが、これは高級品のため、まだ食べたことがありません。機会があれば食してみたいです。三輪山周辺には豊かな自然が広が

り、境内も落ち着いた雰囲気で、静かに参拝することができました。また、祖父の故郷に訪れることができて、初めての土地なのに懐かしさも感じられました。

二つ目は氣多大社（けただたいしゃ）です。石川県能登半島の羽咋（はくい）市にある神社で、ここは行くのに難儀したという点で印象に残っています。大抵の神社は公共交通機関を使って行ける場所が多く、僻地であればレンタカーで行ったりもしていました。氣多大社への行き方を調べると、どうやら電車とバスで行けるということが分かりました。しかし、実際にはバスの本数が少なく、電車からの乗り継ぎ待ちで数時間待ちぼうけになることが発覚しました。最寄り駅から仕方なくタクシーかと考えていると、駅のレンタサイクルを発見し、早速利用しました。残暑の中、片道四キロメートルの道程を汗水垂らし、自転車で乗り、目的地に辿り着いたときには清々しい達成感がありました。参拝の記念

随筆

「青江三奈ショーを見に行つて」

斎藤 照雄

私は、午前八時五十分の築館行きのバスに揺られて青江三奈ショーを見に行つた。そして富士屋食堂に入り「カレーライスを二皿下さい」と注文した。「あら、どうしたんですか？大盛りもありますよ。」

「じゃあ、大盛り一つ下さい。実は私は青江三奈ショーを見に来たんだが、体育館には食堂がないので、ここで昼の分まで食べていこうと思う、二皿お願いしたんです。」

「ああ、そうでしたか。うんと食べて下さい。」

として『氣』のお札をいただき、氣力も上がったように感じました。氣多大社の特徴としては、境内の裏手に三万平方メートルの原生林があることです。この原生林には奥宮が鎮座されており、聖域となっています。ここは『入らずの森』と呼ばれ、人の出入りが禁止されてきました。近年では事前申し込みをすれば、お参りができるようになったそうです。

ここ数年はコロナ禍ということもあり、なかなか遠出するのが難しい状況で、神社巡りも休止しています。世間が落ち着いたらまた再開しようと考えています。長期の休みがとれるなら、四国や九州を一周巡ってみたいです。勤務に関しては新しい環境でまだ慣れない点もあり、ご迷惑をおかけすることもあるかもしれませんが、日々精進して参りますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

そして、食べ終わると食堂を出た。隣を見ると乾物屋があつた。そこで私の好きなスルメが目にとまった。一束十枚入りのスルメを買って、昼ご飯の代わりに食べてみようと思つていた。また隣に目を向けるとタクシーの会社があつた。

「タクシーをお願いします。」

「お客さんどちらまで？」

「中学校体育館までお願いします。」

「中学校体育館ならすぐそこなんだが、まあ乗せないわけじゃないんだが、百円貰いたい。」

「いいですよ。」

間もなく体育館の入口付近に着いた。お代を支払いお礼を言つた。そして上を見上げると笑っている人がいた。園内の友人三人だつた。

午前十一時開門、午後二時からの開演。開演までしばらく時間があつた。友人に「Ｔさ

ん、おにぎり食べませんか？」と聞かれ、おにぎり二つご馳走になった。

二月六日は気温が温かく、背広を脱いでいたら、隣に座る婦人が「おんちゃん、この背広使わないのなら貸して下さい。私寒くて…。」その婦人には数回時間を聞かれた。

「おこがましいが、これを食べて下さい。」と差し出された、みがきニシン、たくあん、お煮しめをご馳走になった。婦人は「私は薬師様の下にあるハナヤという電気屋の嫁です。」「ああ、ハナヤさんなら知っています。うちの電気関係の職員の人でSさんという三人兄弟で…」

「ああ、あなた新生園の方ですか？そのSさんなら、よくうちに部品を買いに来ます。」などと色々話をしていううちに青江三奈ショーが始まった。

司会が「私たちはステレオ装置を使用して

おります。体育館ですので、音が悪い時は勘弁して下さい。」

指揮者と司会者は男性だった。バンドマンに司会者、指揮者は注目を浴び、周りの女性達は誰が好みか話し合っていた。そんな事を言いながら青江三奈ショーを楽しんでいた。

青江三奈ショーが始まり、青江三奈さんが真っ白なドレスをまとい、伊勢崎町ブルースにのせて登場。青江三奈さんのハスキーな声、バンドマンの管楽器が場内に響きわたり、会場が一体となった。そして何曲かメドレーで歌い、一度休憩が入り青江三奈さんは赤いドレスで再登場。大阪空港待合室を歌ったが、空港の飛行機が飛び立つ様子を歌い初めに、歌い終わりに飛行機が飛び立つ様子の演出していた。そして最後のファイナーとなった。青江三奈さんとバンドマンも「さようなら、さようなら」と会場を去り幕を閉じた。場内

アナウンスの「氣を付けてお帰り下さい」という声に送られて、満足そうな顔をしたお客が家路に向かった。



観桜行事 令和4年4月12日～15日



焼き鳥風つくね、桜餅、桜ゼリー
+甘酒でお花見セットです。



満開の桜の中で楽しい時間を過ごしていただきました。ありがとうございます。

新生文芸

詩

佐々木 洋 一 選

◇ 入 選 ◇

《八起に命かけ》

斎藤 照雄

人生七転八起と申しますが
私は八起に命をかけて行きます
しかしこの道とて人の道
七転八起は必ず待っているでしょう

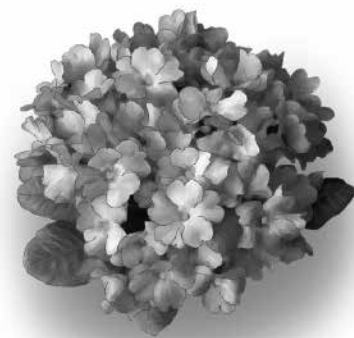
その時は
苦しい時には堪え
悲しい時には泣き
楽しい時には笑い
嬉しい時には喜び
七つ転んでも
八つで起きます
また転んでも起きます
そしてこの道を
人を妬まず恨まず
ひたすら挫けずに
歩いて行きます
あの終着駅まで
影と二人で

【選評】

《八起に命かけ》

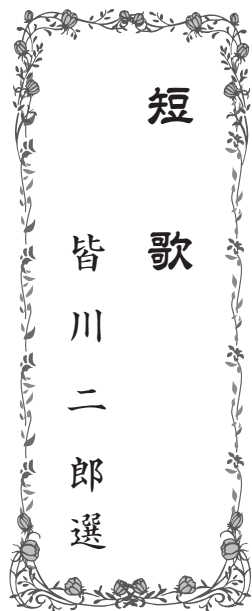
斎藤 照雄

この作品は、目標や人生訓に近いので詩としての独自性が弱い。末尾の一行は、目標や人生訓であれば蛇足、詩としては必要。影と作者は、ともに歩む存在なのか、表裏の関係にありながら歩む存在なのか、興味が掻き立てられる一行です。



短歌

皆川 二郎 選



◇ 入 選 ◇

島貫 徳子

土手に咲く水仙折りて亡き夫に春よ届けと花瓶に生ける

【選評】

早春に咲く水仙の花を土手に手折り、亡き夫にも春を届けたいと願い、花瓶に活けている作者の姿とその思いが素直に伝わってくる。厳しく長かった冬を思うとなおさらであろう。春を迎えた喜びとともに季節感のある一首である。

柏 木 梅

ナラの木の芽吹きもちかき林間を駆けぬけ跳びて弾むリスの尾

【選評】

早春の檜の林の中、芽吹きに近いことを感じさせるころ、跳びながら駆け抜けて行くリスを見つけたのであろう。作者には、そのリスの尾が弾むように見えたのである。焦点を絞って、よく観察した結果を表現し特徴的な一首となった。結句の観察と表現が効果的である。

島貫 徳子

我を見て微笑む夫の懐かしく元気でいるよと遺影にささやく

【選評】

既に亡くなっている作者の夫は、花を見ると微笑んでいたのでは、花を見ると微笑んでいたのでは、

あろう。その夫の微笑みが懐かし
く、花を供えて遺影に向かい「元
氣でいるよ」とささやいている作者
の姿が見える。優しい二人の生前
の様子まで感じられる一首である。

柏木 梅

サクサクとばっけ天麩羅おいしきに熱
氣と苦みの春をほおばる
ヤマガラのをさえずり響く林間にリーン
リンリン熊鈴の鳴る

◇ 佳 作 ◇

小林 喫茶

出兵の息子の写真飾る棚マトリヨージ
カも願う平和を

島貫 徳子

雪どけの土手に芽を出すふきのとう寒
の戻りに荅開かず
目の見えぬ我に優しく語りかけ噂通り
のイケメンドクター
立春を過ぎてなおまだこの寒さ春告げ
鳥の鳴く声待たる



斎藤 照雄

梅の花ほのかに匂う病む窓に

【選 評】

甘酸っぱくもあり心にしみるか
すかな匂い、梅の花ではの優雅な
薫り何がなくとも癒される窓辺、
今日も頑張らねば梅の花よ有難う。

俳 句

山田 桃晃 選

◇ 入 選 ◇

斎藤 照雄

心眼に昇る初日に手を合わせ

【選 評】

心眼でとらえた初日の映え様は
燦々とかがやく、今まさに海から
雲を割って来る生きがいのある濁
世でもあるか生きる喜びに手を合
わせたのではなからうか。

斎藤 照雄

ヘルパーの酌で頂く花見酒

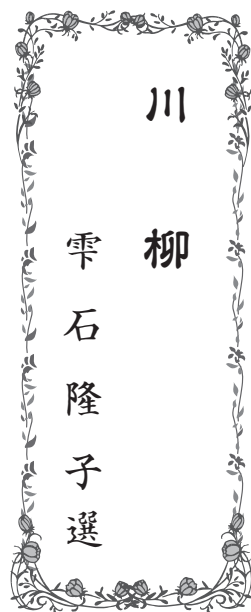
【選 評】

花見酒にも色々ありコロナ禍の
花見酒はどんな香りの酒でしょう。
ヘルパーさんの優しく励まし労る
一献心ゆくまで楽しんで下さい。

◇ 佳 作 ◇

斎藤照雄

見えずとも桜咲く頃ウキウキし
満開の桜バックに切るシャッター
里帰り桜咲く土手眼うらに
朝の茶は縁起が良いと花の冷え
桜咲く朝茶が今日守り神



◇ 入 選 ◇

《天位》

斎藤照雄

望郷台ここが私のふる里だ

【選評】

幾たびも故郷を偲んで立った望郷台。今や偲んだ場所がふる里にも思う。歳月を経てのこの想いに胸痛む思いがする。下五の「ふる里だ」ときっぱり言い切った強さに感銘である。

《地位》

小林 喫茶

彼の地より伝わるニュース春遠し

【選評】

二月二十四から、ロシアの侵攻は未だに続いている。老人も子供たちにも銃を向けられ、その惨憺たる様子に世界は驚いている。一日も早い戦いの終結を祈るばかり。

《人位》

千

歩

ムズムズと春の訪れ鼻に来る

【選評】

アレルギー性鼻炎の人は、いち早く花粉の飛散をキャッチする。春だなあ…と季節の訪れを鼻はくしゃみで迎える。

◇ 佳 作 ◇

齋藤 照雄

この著に今日という日の命かけ
苦勞花咲かせたこの木瘦せ細り
さあ行くぞ白杖きりりと握りしめ

小林 喫茶

ロシア兵乙の文字に何誇る
また値上げ上がらぬ給与音を上げる
成人と言われて気づく高校生

千 歩

合格を祝ういつものラーメン屋
春が来て別れを告げる下ズボン
雨音が心と膝に滲みてくる

大平 尚拓

梅つばみ白い衣を脱ぎ捨てて
自販機にあたたかさ減り春が来る

長 沼 蓮花

お家時間新たな特技開花する
再出発こぶしの花に見送られ
子供らの声も聞こえぬ通学路
ヨモギ摘む祖母の背中を思い出し

着任のご挨拶

看護師長 菊地 春恵

今年度四月から第一メーブルケアセンター
三階の看護師長として勤務させて頂くこと
になりました。よろしくお願い致します。

私は栗原市瀬峰出身で、東北新生園の事は
町外れ（正確には隣町ですが）にあることは
知っていましたが、実際に目にしたことはな
く、将来自分が勤務することになると思っ
てもみませんでした。

高校卒業後、地元を離れ茨城県水戸市にあ
る看護学校に進学したのですが、慣れない寮
生活や実習経験によって、大分精神的に鍛え
られたものでした。

卒業後は仙台医療センターに就職し、一番

初めの配置場所が手術室勤務でした。それま
での実習経験とは全く違う業務内容であり、
それぞれの科の各手術介助の手順や、看護の
仕方を一から覚えることはなかなか大変で
した。何しろ総合病院ということで、行っ
ている手術の内容も、消化器外科・呼吸器外科・
心臓外科・婦人科・産科・耳鼻科・眼科・皮膚科・
歯科・泌尿器科・脳外科・整形外科と多岐に
わたるため、それぞれの手技を覚えなければ
なりません。幸い、私の性格的に手術室勤務
は性に合っており、普通であれば出来ないよ
うな経験も数多く体験する事が出来ました。

手術室勤務の後は外科系の病棟や救命救急
センター等の勤務経験を経て、平成二十二年
四月に福島県いわき市にある国立病院機構い
わき病院に、看護師長として赴任することと
なりました。国立病院機構は、昇任する際は

それまで勤務していた施設から別の施設に異動することがほとんどなため、初めての土地で慣れない業務ということで、引越後後に突発性眩暈で数日動けなくなったことは、我ながらびつくりしました。幸い、勤務開始初日までは回復し、慣れないながらもどうか一年が過ぎようとしていた頃、あの東日本大震災が起きたのでした。

いわき病院は海辺のすぐ側に立地しており、建物の窓から見える海岸線から昇る朝日の光景が素晴らしいところでしたが、あの大地震の折に津波被害に遭い、建物が浸水してしまったことで、数か月間全ての入院患者さん方を避難させなければなりませんでした。私は震災当日、偶然にも東京で行われていた研修に参加しており、現場には居合わせなかったのですが、病院との連絡が取れず交通網も断絶して、戻ることも出来ずに過ごした

数日間の焦燥は、未だに忘れることは出来ません。後からどれ程、現場が大変だったかを改めて聞き、幸いにも人的被害がなかったことに安堵したものです。その後の避難生活及び、入院患者さんを引き受けてくれていた施設への派遣勤務から、復興までの経験も滅多にない経験でした。

平成二十八年四月には再び仙台医療センター勤務に異動となり、二年間勤務した後、平成三十年四月には、岩手県盛岡市にある国立病院機構盛岡医療センターに異動となりました。盛岡医療センターでの勤務にも慣れ始めたところでコロナウイルスの感染拡大が始まり、それからは通常業務に加え感染症対策への取り組みの日々でした。盛岡医療センターでは医療安全管理係長として、その後は外来師長として勤務する中で、検査診断外来での対応やコロナウイルスワクチン接種実施

等、昨年度まで毎日のようにコロナ感染対策に関わってきました。

今回、縁があり東北新生園に勤務することとなりました。ハンセン病療養施設での援助を行う中で、自分に出来ることを模索しながら、入所者の皆様により良い生活を送って頂けるよう精進していきたいと思いますので、これからよろしくお願い致します。



転勤のご挨拶

事務長補佐 佐藤 千代

この度、国立病院機構盛岡医療センターから赴任して参りました、佐藤千代と申します。どうぞ宜しくお願い致します。

東北新生園には、平成五年四月に高校を卒業してすぐに給食係として採用になり、その後施設管理係、補給係、会計係、庶務係として十一年六ヶ月、勤務させて頂きました。

平成十六年十月に国立病院機構花巻病院へ転勤となりましたが、離園式のあと本館前のロータリーで入所者・職員の皆さんに見送っていただき、新生園を離れる不安と寂しさを

抱えながら、新任地へ自家用車で向かったことを覚えています。花巻病院へ転勤した後は、岩手病院、盛岡医療センターでの勤務を経て、ご縁がありこの春から十七年六ヵ月ぶりに新生園で働くことになりました。内示の話をいただいた時は、また新生園で働くことができる嬉しさとともに、事務長補佐という大任を務めることができるだろうかという不安でいっぱいでしたが、久保会長をはじめ皆さんから、以前と変わらない温かいお言葉をかけていただき、とてもありがたくそして心強く思っております。

着任後に、園内を案内してもらいましたが、私の知っていた不自由者棟、給食棟、自治会福祉室の建物はなく、とてもきれいで立派な第一・第二メープルケアセンター、総合診療棟に多くの機能が集約されていました。方向音痴の私は、一人で本館から福祉室に向

かう時に迷ってしまい職員の方に案内してもらったり、日直の時に福祉室前の駐車場まで到着できず、結局本館まで戻り更衣棟から福祉室まで歩いて移動したりしています。このメープルケアセンターへの建替も、十三施設

あるハンセン病施設の中で先行して整備され、他施設からの見学希望の話もあると伺いました。入所者の方が快適に生活することができるようにと、先駆けて整備されたこと、本当にすごいことだと思います。

着任後の休日には、車で園内を一周してみました。一般寮が並んでいた所はだいぶ建物が取り壊され、パークゴルフ場や、きれいに整備され桜が植えられていました。千本桜の構想があり、もうすぐ千本に達するとのこと。満開の桜を見るのがとても楽しみです。変わった所も沢山ありましたが、睦ヶ池や新生会館、温室や各宗教団体の建物など以前と変

わらない場所も沢山あり、とても懐かしく感じました。園内のウォーキングマップをいただいたので、今度はゆっくり徒歩で園内を回りスタンプラリーを完成したいと思います。ここで、少し以前勤務していた時の思い出を書いてみたいと思います。

私は一関市花泉町出身ですが、面接に来た時はまだ高校生で新生園の場所も分からず、まさか自宅から車で三十分程度で着くことができると思わず、母に付き添ってもらい石越駅から瀬峰駅まで電車で来ました。今思うとなんて遠回りなんだろうと思いますが、その面接の結果、新生園に採用していただきました。

就職してからは普段は事務職ということで入所者の皆さんにお会いする機会は少なかったのですが、様々な行事に参加した時には、優しく声をかけていただきました。運動会で

は入所者の皆さんと一緒に団体競技に参加し、意気揚々と沢山の景品の日用品を持って帰りました。バス旅行の付添として定義山へも一緒に行かせていただきました。帰りに寄ったショッピングモールでドレス等を扱っているお店があり、「カラオケ大会用の衣装を見ているんだよ」と教えてもらい、だからいつもみんな素敵なドレスでカラオケ大会に出ているんだな—と思ったのを覚えています。

久保会長とは一緒に松島と気仙沼大島のマラソン大会に参加しました。この二回だけが私の生涯でのマラソン経験です。こうして書いてみると、他にもカラオケ大会やゲートボール大会、さつき祭や菊花祭のことなど、どんな当時の思い出がよみがえってきます。今は外で行う行事は少なくなっていますが、季節ごとに楓会主催の行事があるということなので、入所者の皆様とお会いできる機会を楽しみにしております。

最後になりますが、入所者、職員の皆様のお役に立つことができるように、微力ながら力を尽くして参りたいと思いますので、どうぞよろしくお願い致します。



ご挨拶

医事係長 佐藤 政光

この度、国立病院機構宮城病院から赴任して参りました、医事係長の佐藤と申します。どうぞよろしくお願い致します。

出身は、宮城県多賀城市です。国立療養所翠ヶ丘病院（現国立病院機構いわき病院）に採用され、国立鳴子病院（現大崎市市民病院鳴子温泉分院）を皮切りに、郡山病院（現国立病院機構福島病院と統合）、いわき病院（二回目）、あきた病院、盛岡病院（現盛岡医療センター）、八雲病院（現北海道医療センター、函館病院へ機能移転）、釜石病院、宮城病院と異動し、当園で十施設目となります。

ここで、出身地のことをお話させていただこうと思いましたが、多賀城市のことは、現栄養班長が二年前にお話されているようですので、実家がある宮城県塩竈市のことをお話させていただきます。

塩竈市には、高校二年の春に実家前の道路の拡張工事に伴い移転しましたが、移転と言いましても多賀城市にあった実家が、約1km塩竈市に移転しただけで、ほぼ生活圏内だったので、移転した実感はあまりありませんでした。

塩竈市は、宮城県のほぼ中央、仙台市と日本三景松島の中間に位置する市で、「生マダロ水揚量日本一」に代表される日本有数の港町であり、東北を鎮護する陸奥国一之宮「鹽竈神社」の門前町として独特の歴史や文化を育んでいる魅力ある街です。

観光スポットとして、「鹽竈神社」、「天然

記念物の塩竈桜」、「マリーンゲート塩釜」、「塩釜水産仲卸市場」、「浦霞 酒ギヤラリー」等があります。

「鹽竈神社」は、東北を鎮護する陸奥国一之宮として、一二〇〇年以上の歴史を誇る。古くから大漁祈願、海上安全、安産の神として信仰を集め、「しおがまさま」の名で親しまれています。現在の社殿は、九年の歳月をかけて宝永元年（一七〇四年）に建造されたもので、国の重要文化財に指定されていることです。

境内からは松島湾を一望でき、その景色はすばらしいものがあります。

「天然記念物の鹽竈桜」は、鹽竈神社の境内に二十七本あり、他にはソメイヨシノや八重咲きのシダレザクラ等が植栽され、春になると見事な花を咲かせます。

この時期には鹽竈神社のまつり、帆手祭、

花祭、みなと祭と神輿が渡御（ときよ…市内巡行）する三つの祭典（氏子三祭）の一つ花祭が行われます。

花祭は、江戸中期安永年間旱天が続き、作物が実らず困り果てた氏子が鹽竈神社に祈願すると、気候が順調となり作柄も良くなった。その事に感謝の意を込め、安永七年（一七七八年）三月十日に神輿を出し御神幸したのが始まりで、明治五年（一八七二年）の改暦後祭日が四月二十五日に改められた。丁度桜が満開の時期あることから「花祭」と称されるようになったようです。

私の誕生日と同じで子供の頃には親近感を感じたものでしたが、昭和六十年（一九八五年）に祭日を四月第四日曜日に移行され、少々残念に思っておりました。

ここで話を私の事に戻しますと、今回の人事異動の内示が、妻が亡くなった二日後にあ

り、県外への異動ではなく県内の施設で自宅から通えるという事で、少し安堵しておりました。

ハンセン病の施設は初めてではありませんが、今回の異動は何かご縁があったとおっております。

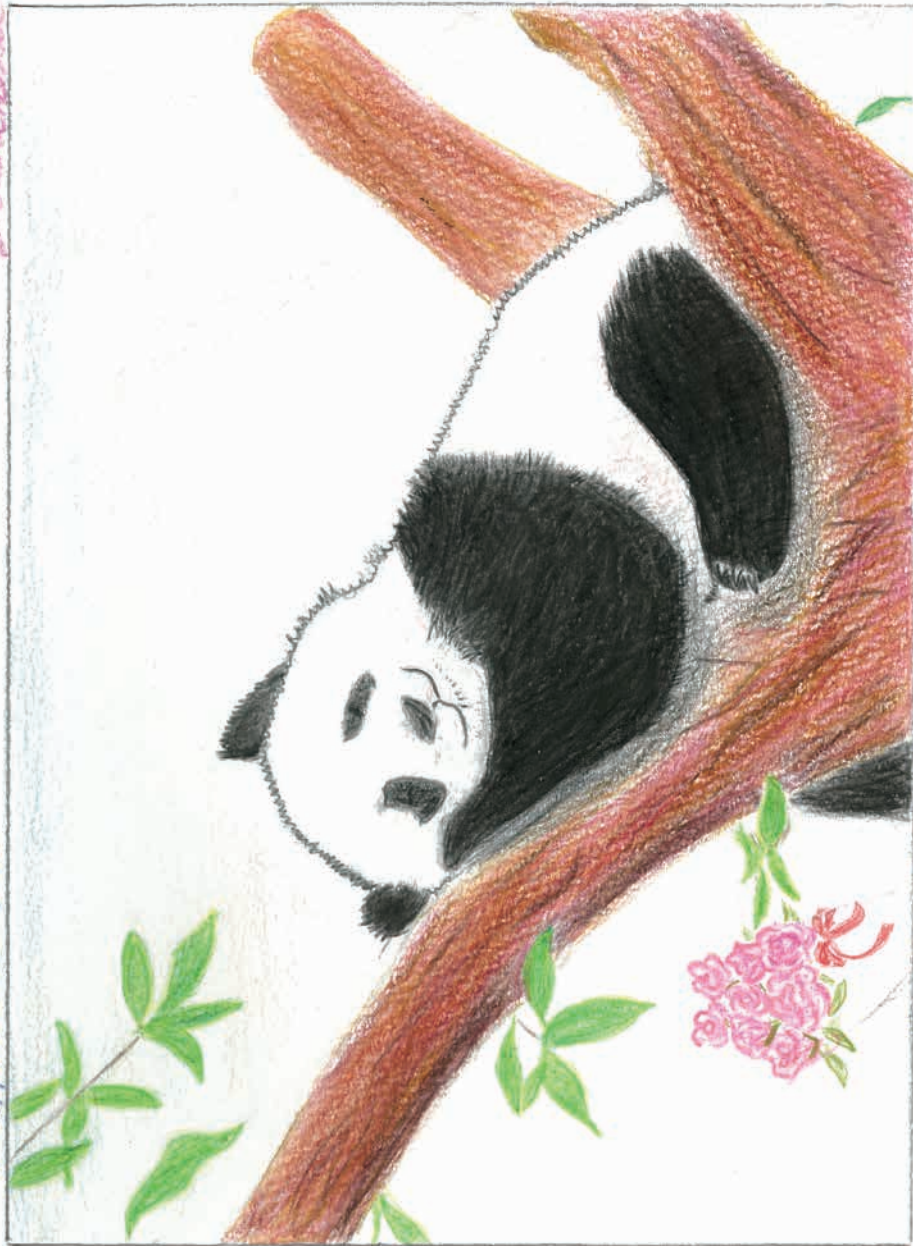
今まで患者さんに一番近い関係にあった医事室勤務が長かったのですが、患者さんの立場に立った対応が出来ただろうかと思省しておりました。

今回の福祉室勤務では、改めて入所者の方々の立場に立った対応が出来るよう努めて参りたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



Thank you

I appreciate you



バウ 8年花言葉 感謝しています

メモリー



離任式

令和4年3月31日



今年も新型コロナウイルス感染防止対策の為、本館会議室にて行われました。

